

# 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

資料 4

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	継続議論	解決策・具体例
出産・子育て女性の活躍	1	<b>安心活力発展</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域や行政など社会全体で子育てをする仕組みづくりが必要ではないか</li> <li>●子育てしやすい仕事・職場づくりをどう実現するか</li> <li>●3人目を決断するかどうかは、子育てを楽しめているかどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①夫婦だけでなく、実家、隣近所、地域コミュニティ全体で子育てする仕組みづくり（沖縄、離島など参考）</li> <li>②子育てを楽しめる環境整備</li> <li>③子育てしながら働きやすい企業、働きながら休みやすい企業になるための支援</li> <li>④行政が行うべき子育て支援</li> <li>⑤「社会全体で育てる」という子育て環境向上に向けた機運醸成</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域や男性による子育ての促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサポーター（メンター）</li> <li>・祖父母との同居による子育て支援</li> <li>・温泉を活用した子育て支援</li> </ul> </li> <li>●育児の支援体制強化（保育所等）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱発等への保育所の対応、支援</li> <li>・子育てヘルパー</li> <li>・学童保育の充実</li> </ul> </li> </ul>
	2	<b>総合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間単位の有給など、女性にとって一定の時間が作れることは大事であり、企業による制度的なバックアップとともに、行政はその環境整備を行うことが必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③子育てしながら働きやすい企業、働きながら休みやすい企業になるための支援</li> <li>④行政が行うべき子育て支援</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業での育休や育短勤務の取得促進</li> <li>●企業内子育てルームの充実</li> <li>●多様な働き方の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレックス、テレワーク、看護・PTA休暇等</li> </ul> </li> <li>●参加しやすい学校行事、地域行事等の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の休日開催</li> </ul> </li> </ul>
	3	<b>総合安心（発展）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てや地域行事等の参加など、女性の社会的制約を軽減する対策が必要ではないか</li> <li>●女性の生きづらさを解消する取組を進めるとともに、女性にとって魅力的な大分県となるための新たな取組が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①女性の生きづらさを解消する仕組み</li> <li>②女性の職業スキルを高める取組</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い女性へのメッセージ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本気度を示すアクションプラン作成</li> </ul> </li> <li>●一人親家庭の子育て支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・父子家庭の支援強化</li> <li>・嫡出子に限らず行政サービスを受けられるようにする</li> </ul> </li> </ul>
	4	<b>総合安心活力（発展）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡など他県の魅力の検証とともに、他県の女性の意見を聞くことも大事ではないか</li> <li>●議会や集落等、公の場での女性の発言機会を増やすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③女性にとって魅力的な大分県づくり</li> <li>④女性比率の向上、女性の登用の促進</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性の4大進学率を上げる取組、理系への進学を促進する取組</li> <li>●都市部のように洗練された場所、出かける目的となる場所のような、若者が集まるスポットをつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・職や遊びの機会を増やす</li> <li>・出会いの場づくり</li> </ul> </li> <li>●積極的な女性の登用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり制度の充実</li> </ul> </li> </ul>

## 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	継続議論	解決策・具体例	
地域共生社会 公共交通・交通 ネットワーク	5	安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会福祉協議会やNPOなど多様な主体、世代が繋がり支えあう地域をどう実現するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域での活動をつなぎ、コーディネートする中間支援組織の充実が必要ではないか</li> <li>②NPOを資金的に支援する新たな仕組み</li> </ul>	◎  ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NPOが企業や自治会等多様な主体と協働して公共的な地域課題を継続的に解決するモデルづくりの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村社協、社会福祉法人等の機能充実</li> <li>・生活支援コーディネーター等の配置</li> </ul> </li> <li>●コミュニティバスや乗合タクシーの運行、離島航路の維持                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各バス会社が連携した運行システム</li> <li>・クラウドファンディングの活用</li> </ul> </li> <li>●過疎地有償運送の検討</li> <li>●保育園と老人ホーム等の隣接設置等</li> <li>●次世代モビリティのあり方検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人カート等の自動運転に向けた検討</li> <li>・高齢者向け低速自動車の検討</li> </ul> </li> </ul>
	6	安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワーク・コミュニティの取組は進んでいるが、人口減少を前提とした、さらに踏み込んだ施策が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ネットワーク・コミュニティや集落対策と、社会福祉協議会、社会福祉法人など地域を支える主体、システム等との連携（縦割解消）、横断的取組</li> <li>②地域交通の確保に向けた取組の検討</li> </ul>		
	7	発展 総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域内、特に近・中距離の移動手段をどのように確保するか</li> <li>●地域の実情に応じた新しい地域公共ネットワークの検討など、地域特性を踏まえた（差別化した）取組が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③大分ならではの（先駆けた）取組の検討 ・高度技術の活用</li> <li>④インバウンドに対応した交通手段の検討</li> </ul>		
県土強靱化	8	安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフト対策と連動したハード対策など、災害に強いまちづくりをどう進めるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①誰もが安心して暮らすことのできる地域の防災・減災対策の強化</li> <li>②南海トラフ地震・津波への備え</li> <li>③安全・安心な居住地域の検討</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一斉避難訓練の実施 ・要支援者の災害時ケアプラン作成</li> <li>●地域の防災力強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険地域ハザードマップの早期作成、活用促進</li> <li>・災害別対応の住民理解促進</li> </ul> </li> <li>●災害時の情報伝達の強化 ・避難に資する映像や音声等による情報発信</li> <li>●地震・津波対策の強化</li> <li>●拠点地域への移転促進</li> </ul>
	9	総合 安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市部との交通遮断など、災害が起きた際、影響を大きく受ける農村・山林地域等のさらなる対策も必要ではないか</li> <li>●人口減少を前提とした空間づくり、逆成長していく中での社会資本の管理の視点が必要</li> </ul>			

## 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	継続 議論	解決策・具体例
人材育成	10	安心 発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業界や地域のニーズにあった人材の育成ができる教育が必要ではないか</li> <li>●高校では、地元との繋がりを強め、地元のニーズに応えられる人材の育成も進めるべきではないか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中高におけるキャリア教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に向けた「目標感」の醸成</li> <li>・コミュニケーション能力の向上</li> </ul> </li> <li>●女性の4大進学率を上げる取組、理系への進学を促進する取組</li> </ul>
	11	安心 発展 総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県内の地域や仕事の理解をより深め、郷土愛を持った若者をどう育てていくか</li> <li>●小中学校段階でのキャリア教育を充実させる必要があるのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キャリア教育の充実</li> <li>②女性の職業スキルを高める取組</li> <li>③地域や産業ニーズを捉えた人材の育成・確保</li> <li>④リカレント教育の充実</li> <li>⑤地域と教育機関の連携</li> <li>⑥魅力ある教育機会・環境の整備</li> <li>⑦特色ある教育の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎</li> <li>●地域が高校に求めるニーズの把握                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業と先生とのコミュニケーション強化</li> </ul> </li> <li>●高校の職業コースの見直し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT・AI技術ニーズに対応したコース</li> </ul> </li> <li>●ニーズに応じた専門性のある人材の育成</li> <li>●IT分野など最先端で活躍する高度な人材の育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼少期からの先進的なITリテラシー向上教育の実施</li> </ul> </li> </ul>
	12	総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と教員を繋ぐコーディネーターが必要ではないか</li> <li>●特色のある学科を持つ大学を作っていく必要があるのではないか</li> <li>●連合学部(農学部等)などの可能性を長期的に考える必要があるのではないか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎</li> <li>●魅力ある大学づくりに向けた産学官でのあり方検討と協働事業(COC+)の強化</li> <li>●県内大学が連携した学部(農、観光等)の設置検討</li> </ul>

## 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

テーマ	主な意見			重要論点・方向性	継続 議論	解決策・具体例
人材確保	13	活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内産業をいかに儲かる産業へ転換させるか</li> <li>● 大分らしい、県内企業の魅力ある仕事づくりをどう創出するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 夢のある仕事づくり</li> <li>② 生産性の向上</li> <li>③ 人を惹きつける仕事づくり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力ある仕事づくりの促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成功企業の横展開</li> <li>・ 大学研究者、メーカー技術者等との連携した技術開発等</li> </ul> </li> <li>● 学科と就職先のマッチング</li> <li>● 県内企業情報の発信と中小企業の採用力向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリエイターと連携した広報・採用募集</li> <li>・ マッチングシステムの整備</li> <li>・ 長期インターンシップの導入</li> </ul> </li> </ul>
	14	発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の大学や企業と、小中高校とを繋ぐ方策が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>大学や企業と小中高校を繋ぐ仕組みづくり</u></li> <li>② 地域と連携した魅力・特色ある学校づくり</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者・学校向け企業理解の促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報共有の場の拡充</li> <li>・ ミスマッチ解消のためのコミュニケーション強化</li> </ul> </li> </ul>
	15	総合 発展 (安心)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規就業者や参入企業の生活環境面等でのフォローアップが必要ではないか</li> <li>● 学生の時までは気づかなかった人が30代初期に気づき、地元に戻って就職したいと考える人もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 就業者、移住者等に対するフォローアップ</li> <li>② <u>年代別の人材を引き戻すための戦略づくり</u></li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移住者の把握とフォロー体制の整備</li> <li>● Uターン就職希望者（中途等）の受入促進</li> <li>● 「帰っておいで作戦」の展開                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会動態の更なる分析（転出・転入動機）</li> <li>・ 年代別の正確なデータ分析に基づくマッチング強化</li> </ul> </li> <li>● 魅力的なまちづくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事以外での人生におけるわくわく感</li> <li>・ 福祉施策の充実について、東京との比較の広報・キャンペーン</li> </ul> </li> </ul>

## 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	継続議論	解決策・具体例	
産業振興	16	活力総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材不足に対応した働き方改革、賃金体系見直しなど、中小企業の経営改革をどう進めるか</li> <li>●中小企業対策として、チャレンジ、核となる人材の確保、個性を出すことが重要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人口減少を見据えた経営改革</li> <li>②中小企業の挑戦に対する支援</li> <li>③人口減少を見据えた海外展開の推進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係機関等による伴走型の支援</li> <li>●働き方改革の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実に即した労働条件等の見直し</li> </ul> </li> <li>●魅力ある仕事づくりの促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・成功企業の横展開</li> <li>・大学研究者、メーカー技術者等との連携した技術開発等</li> </ul> </li> <li>●中小企業の海外展開支援</li> </ul>
	17	活力総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者の挑戦をサポートする環境づくりをどう進めるか</li> <li>●多様な人材が集まるハブのようなものをつくり、新しいものを生むことが必要ではないか</li> <li>●ノマドワーカー等、新しい働き方の習性を分析し、どうやったら大分に来てもらえるか研究が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①若者の創業支援</li> <li>②多様な人材・業種の交流</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスチャンス等が広がる都市圏との交流促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノマドワーカー等を呼び込む環境づくり</li> <li>・創業メンター・先輩とのネットワークづくり</li> <li>・コワーキングスペースの整備</li> </ul> </li> <li>●大学のベンチャーの推進</li> </ul>
	18	活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育含め、先端技術への挑戦をどう県の競争力強化につなげていくか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①先端技術に通ずる人材育成</li> <li>②先端技術を活用した地域課題解決に向けた取組</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先端技術に触れ合う教育の充実（プログラミング、遠隔授業等）</li> </ul>
	19	総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●戦略的なITの活用（ステップバイステップ）が必要ではないか（次のステップを見据えた環境の創出など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③先端技術を活用した産業振興</li> <li>④先端技術に挑戦する事業者支援</li> </ul>	◎ ◎ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先端技術等の社会実装促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農林水産業、鳥獣被害対策等の地域特有の課題に対応した社会実装</li> </ul> </li> <li>●先駆的な実証・実験の推進</li> <li>●産業における先端技術導入促進</li> </ul>
	20	活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルマーケティングなど新しい広報にどう取り組んでいくか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①WEB・SNSの有効活用</li> <li>②戦略的なマーケティング</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●国や関係機関等と連携したより効果的な広報活動の展開                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客による情報発信を誘発するための環境整備</li> </ul> </li> <li>●輸出・人材確保など各種施策と、広報との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人視点の地域資源開発</li> </ul> </li> </ul>

## 中間見直しにおける論点及び今後の方向性について（第2回部会まとめ）

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	継続 議論	解決策・具体例	
芸術文化 スポーツ	21	発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 芸術の持つ、多様なものの見方や感じ方を、特に若者が身につけるためにさらに何をすべきか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 芸術文化に触れる機会の提供</li> <li>② 若者の芸術文化活動の底上げ</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者の芸術文化祭への参加拡大</li> <li>● アーティスト等を学校派遣し児童生徒への芸術教育推進 ・ 周辺地域の子ども達への機会充実</li> </ul>
	22	総合 発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 芸術文化が女性達にとって、生きづらさの解消や大分らしさとの出会いであったりする分野ではないか</li> <li>● 価値観を育てること、本物に触れることは重要であり、その機会を増やすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 芸術文化に触れる機会の提供</li> <li>② 指導者の育成</li> <li>③ 地域の伝統行事の保存</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力的な芸術文化プログラム等の展開</li> <li>● 歴史を通じた地域愛・郷土愛の醸成</li> <li>● 伝統行事への地域外からの参加拡大</li> </ul>
その他	23	総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口の社会増減等の目標値は意欲的なものとなっているが、今までと同じ施策では目標達成は困難と思われる</li> <li>● 目標値のあり方、あるいは施策の効果を見極め、新しい施策として何をやるべきかを突き詰めていくべき</li> <li>● 最重要なのは人口減少であり、ここに帰結しない施策はやらなくていいくらいの割り切りで、自然増減・社会増減に係る施策をするべき</li> <li>● SDGsを踏まえた、グローバルな視点をもって、目標指標を設定し、計画を策定するべき</li> <li>● 見直しということで課題やマイナス面ばかりに着目しているが、夢のある前向きで明るいプランにしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施策、目標指標の見直し</li> </ul>	-	-